市の家計簿を見てみましょう!

※平成26年4月1日(住民基本台帳の 人口154,645人)で計算しています

決算額を狭山市にお住まいの皆さん1人あたりの家計簿にしてみました。

139,493円
81,290H
19,074円
17,418円
39,965円
297,240円

会計

	49,41911
食費(人件費)	63,251 円
医療費(扶助費)	21,053H
ローンの返済(公債費)	48,209H
光熱水費、日用品など雑貨の購入(物件費)	22,602H
光熱水質、日田四など和質の無力に表示している。 家の増改築、車の購入など(普通建設事業費、維持補修費など)	59,888円
家族への仕送りなど(補助金等、貸付金、繰出金など)	17,758円
将来に備えた貯金など(積立金)	282,180円

貯金の残高(基金残高)	60,642H
ローンの残高(市債残高)	245,335円

※差引額15,060円の黒字になりました。(297,240円-282,180円)残ったお金はいざという時 に備え、計画的に貯金しています。また、安全で安心した生活を送るため銀行などから計画的 に借り入れを行っています。

問合せ財政課へ内線7112

《水道事業会計》

平成25年度末の給水戸数は64,750戸、給水人口は 153,502人で、前年度に比べ432戸の増加、563人の 減少となりました。

給水収益は、対前年度比0.26%増の28億1,691万 362円、年間配水量は1.24%減の17,549,191㎡、年 間有収水量は0.03%減の16.864.739㎡となりまし た。有収率は、老朽管の更新や配給水管修繕の継続的 な実施などにより、前年度に比べ1.17ポイント増の 96.10%となりました。

◆収益的収入及び支出

	<u> </u>				
収	営業収益	29億1,548万3,005円			
7	営業外収益	1億1,336万7,113円			
人	合計	30億2,885万118円			
	営業費用	26億3,377万4,570円			
支	営業外費用	1億3,670万389円			
出	特別損失	355万6,323円			
	合 計	27億7,403万1,282円			

※未処分利益剰余金2億3,479万220円(税抜)は減債積 立金に積み立てました

平成 25 年度 公営企業

収益的収支の収入は、前年度に対して0.19%の増 で、主なものは水道料金収入です。支出は前年度に対 して1.10%の減で、主なものは県水受水費などの経 費です。

◇資本的収入及び支出

	V = 1				
	負担金	497万2,296円			
収	工事寄附金	9,886万1,700円			
	水道利用加入金	4,450万50円			
	設計管理料	884万6,798円			
	合計	1億5,718万844円			
支	建設改良費	5億7,404万9,802円			
1	企業債償還金	2億83万6,305円			
出	合 計	7億7,488万6,107円			

※不足額 6億 1,770万 5,263円は損益勘定留保資金などで 補てん

資本的収支の収入は前年度に対して49.14%の増 で、主なものは工事の負担金や水道利用加入金です。 支出は前年度に対して0.66%の減で、主なものは工 事費や建設改良の財源に充てるための企業債の償還 金です。

■市民一人・一世帯当たりの歳入歳出決算額

歳入項	目	一人当たり	一世帯当たり
市税		139,493円	327,556円
市民	税	66,071円	155,146円
固定資	産税	59,080円	138,731円
市たば	こ税	6,786円	15,936円
都市計	画税	6,357円	14,927円
軽自動	車税	1,199円	2,816円
地方消費税	交付金	8,790円	20,641円
地方交付	 税	12,215円	28,684円
国庫支出	金	35,864円	84,216円
県支出:	金	14,520円	34,097円
繰入金	È	21,087円	49,516円
繰越金	È	18,879円	44,331円
市債		17,418円	40,901円
その作	也	28,974円	68,035円
合 計		297,240円	697,977円

歳出項目	一人当たり	一世帯当たり
議会費	2,144円	5,035円
総務費	51,729円	121,470円
民生費	107,845円	253,241円
衛生費	22,790円	53,516円
労 働 費	576円	1,352円
農林水産業費	1,095円	2,570円
商工費	4,455円	10,461円
土木費	27,508円	64,593円
消防費	12,810円	30,081円
教育費	30,181円	70,871円
公債費	21,041円	49,408円
その他	6円	16円
合計	282,180円	662,614円

■ 平成25年度市財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表します

平成 25 年度決算に基づく市の健全化判断 健全化判断比率 比率と資金不足比率は次のとおりです。財政 状況は前年度に引き続き健全といえます。 実質赤字比率…一般会計などの赤字の大きさ 連結実質赤字比率…市全体の赤字の大きさ 実質公債費比率…その年の借入金などの返済額 の大きさ

将来負担比率…返済の終わっていない借入金の 残額など、今後支払う必要のある負債の大きさ

指標の名称	狭山市の比率
実質赤字比率	— (% 1)
連結実質赤字 比率	— (% 1)
実質公債費比 率	2.0%
将来負担比率	8.1%

資金不足比率

会計の名称	狭山市の比率
水道事業会計	— (% 2)
下水道事業 会計	— (% 2)

(※ 1)赤字額がないため[—]表示 (※2)資金不足額がないため[—]

会計決算状況

問合せ経営課へ内線2721

久保川処理分区などの市街化区域と市街化調整 区域第3期事業として幹線と枝線整備を推進した 結果、供用開始面積が1,867.23ha、処理可能人口が 147,191人、62,803世帯の汚水処理が可能となり、 このうち下水道に接続した件数は、平成25年度末現 在で61.317件、水洗化率は97.63%となりました。

◆収益的収入及び支出

	* **— *** *** ***			
	営業収益	19億6,302万3,740円		
収	営業外収益	6億4,412万8,984円		
入	特別利益	3億7,028万4,245円		
	合計	29億7,743万6,969円		
	営業費用	20億8,220万5,122円		
支	営業外費用	5億631万7,661円		
出	特別損失	154万5,579円		
	合 計	25億9,006万8,362円		

※未処分利益余剰金4億4,101万7,414円(税抜)のうち、 2,000 万円を減債積立金に、3 億 8,000 万円を建設改良 積立金に積み立てました

《下水道事業会計》

収益的収支の収入は前年度に対して5.28%の増 で、主なものは下水道使用料です。支出は前年度に対 して2.23%の減で、主なものは減価償却費や流域下 水道管理費などです。

◇資本的収入及び支出

V > C > F			
	企業債	5億2,450万円	
	他会計負担金	1億830万9,000円	
収	国庫補助金	5,859万9,000円	
入	工事負担金及び分担金	152万8,460円	
	寄附金	1,444万8,870円	
	合計	7億738万5,330円	
支	建設改良費	8億1,549万5,652円	
	企業債償還金	10億2,658万3,665円	
出	合 計	18億4,207万9,317円	

※不足額11億3,469万3,987円は損益勘定留保資金などで補てん 資本的収支の収入は前年度に対して14.32%の減 で、主なものは企業債です。支出は前年度に対して 7.44%の減で、主なものは工事費や建設改良の財源 に充てるための企業債の償還金です。